

子どもの権利、安全な給食

韓国視察調査記

その2



5月15日から17日まで、ソウル市の学校給食と青年支援策の調査と視察のために韓国に行ってきました。
2日目の教育庁と流通センターの視察を報告します。

韓国では2000年初頭から
無償給食



青年センターでの聞き取り

韓国では小学校から高校まで（なんと高校にも給食があります）給食が無償です。2000年代初頭、韓国では劣悪な委託給食や食中毒、給食費の未払いなどが重要な政治課題となり、

安全で信頼できる給食は

子どもの権利

ソウルの学校給食は、委託から自校方式への移行が進んでいます。まだ委託している学校も、その食材は給食配送センター（オルボン）からの調達で義務付けられています。委託会社の

利益が優先され、食の安全が後回しになってはいけません。と考えているからです。東京と違い、安全な給食が「子どもの権利」として位置付けられているのです。

すべての食材を毎日検査

食品流通センターの中にある給食配送センターが「オルボン」です。安全基準の認証を受けた農業団体から、毎日このオ

ルボンに食材が届けられ、ここでさらに、すべての食材の残留農薬や放射能のサンプリング検査が行われます。

子どもたちの食の安全のために

職員は3交代

配送センター内を詳しく説明してもらいながら見学しました。食材は毎日午前3時から次々に届き

ます。そのため職員は24時間3交代の体制になっています。ずらりと並んだ検査機器も、白衣を着た検査員も、物流センターのよ

子どもや青年を権利の主体に

「安全な給食を食べる権利」、「政治に参加し主張する権利」、今回の視察で繰り返し耳にした「権利」という言葉。



配送センターの倉庫

抗日闘争や独立運動、民主化運動を通じて権利を勝ち取ってきたソウル市民にとって、政治はくらしそのものであり、主張し要求することは当然

の権利と考えているようです。大人たちがそう考えるからこそ、子どもや青年も権利の主体として尊重されるべき、ということでしょう。

学びの多い、充実した視察となりました。

うな大きな倉庫も、すべて安全な給食のための仕組み・設備なのです。街を走るウルボンのトラックは、給食の安全と信頼の象徴として市民に親しまれています。



配送センターの検査について説明を受ける



無償給食が進みました。今は、より安全な給食を子どもたちに提供するためにオーガニック給食が進んでいます。今回伺ったソウルもその一つです。



蓮舫氏が 都知事選に出馬表明

立憲民主党の蓮舫参院議員は、5月27日東京都知事選挙に出馬する意向を示し、反自民党政治、非小池都政に転換する都知事を目指すと表明しました。



都議団控室を訪れた蓮舫予定候補と和泉都議と握手

立憲民主党の蓮舫参院議員は、5月27日東京都知事選挙に出馬する意向を示し、反自民党政治、非小池都政に転換する都知事を目指す

と表明しました。和泉都議は、蓮舫氏と握手を交わし、応援を表明しました。



日本共産党 都議会議員
和泉なおみの
さわやかレポート
発行 和泉なおみ事務所
葛飾区東立石 3-25-8
TEL 5671-0850
FAX 5671-0851
NO.93
2024.6

